

位置情報サービス提供者及び利用者へのアンケートの実施とその回答

ハッカソン参加者版

平成28年3月3日

アンケート実施の目的

- パブリックタグ情報共有プラットフォームを使用したサービスの提供を行う際に必要となる要件を確認するため、サーバー管理者及び一般ユーザー提供用アプリの開発者(団体／個人)に対し、以下の項目に関するアンケートを行った。

- 位置情報サービスの提供
- パブリックタグとプラットフォームの利用
- その他

※ 回答者は、「東京駅周辺屋内外シームレス測位サービス実証実験」の一環として実施されたハッカソン参加者の内、ご協力いただいた31名。

1. 位置情報サービスの提供について

質問項目	回答項目	回答数／回答率
利用目的(複数回答)	目的地周辺の情報検索	21人
	目的地までのナビ	18人
	観光案内	11人
	店舗の検索	10人
	避難誘導	6人
	その他	4人
サービスに必要な位置精度は	1m以下	28%
	1mから5m	56%
	5mから10m	10%
	わからない他	6%
タグからの電波受信後の利用できるまでの許容時間	0.1秒以下	13%
	0.1秒から1秒	61%
	1秒から数秒	13%
	わからない他	13%
位置精度以外の重視する要素(複数回答)	階層の判断	21人
	屋外との接合	11人
	他施設との接合	10人
	その他	6人
	(少数意見:電波通信状態や方向)	

2. パブリックタグとプラットフォームの利用について

質問項目	回答項目	回答率
BLEから発信される緯度・経度・階層の情報を直接利用	有効と思う	90%
	その他 (主な理由: 地下街や屋内測位、階層の判断に有効)	10%
タグの設置位置精度は必要か	必要	32%
	必要ない	13%
	わからない他	55%
タグの運用状態の情報は必要か	必要	48%
	必要ない	7%
	わからない他	45%
登録情報の取得方法	API方式を利用	44%
	テキスト方式を利用	6%
	両方を利用	31%
	わからない他	19%

3. パブリックタグとプラットフォームの利用について

質問項目	回答項目	回答数／回答率
登録情報が信頼できるタグの利用	有料でも利用したい	26%
	有料なら利用しない	19%
	わからない他	55%
利用したいと思わせる条件(複数回答)	多数の施設が登録されシームレスな利用が可能なこと	12人
	位置情報が信頼できること	10人
	運用状態が信頼できること	8人
	多機能で高速なAPIの提供	7人
	屋内地図との連携が可能なこと	7人
自らパブリックタグを設置したいか	設置したい	16%
	設置しない	13%
	わからない他	71%

4. まとめ

■ ハッカソン参加者の視点からは、以下の要素が抽出された。

- ✓ 一般的なナビゲーションや周辺案内及び店舗情報の提供を行うために必要と考える精度は 5m 以下でよい。
- ✓ 緯度・経度・階層の情報を地下街や屋内測位において、パブリックタグから直接受け取り、サービスに利用できることは有効である。
- ✓ 多機能で高速処理が可能なAPIの提供と登録情報(位置情報、タグの運用状況)の信頼性を担保する仕組みを持つことが、プラットフォームの利用の動機付けになる。